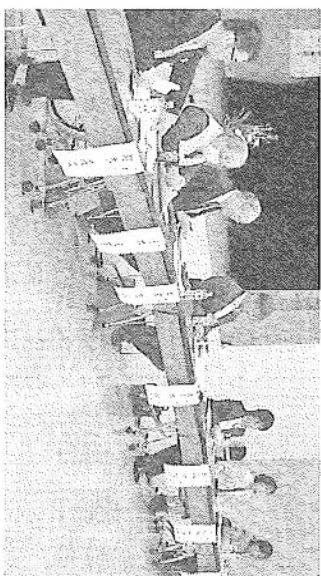


市民ら160人が参加 シブ「高齢期の住まいの選び方」 種類、選択ポイント学ぶ シブズネット



安心・快適住まいる
アップ事業を進めている
シブズネットは十八
日、札幌市内でシブ
ジウム「高齢期の住ま
いの選び方」を開いた。
市民ら百六十人が参加
し、高齢者施設・住宅
の現状などについて学
んだ。写真Ⅱ。

国立保健医療科学院の
井上由紀子施設環境評
と指摘し、「自分がとつ
て必要なものは何かを
体像を解説するとも
に、選択のポイントな
どを説明。「住居機能だ
けでなく、生活世界を
広げるような仕組みが
住宅」では、事業者、建
築家、福祉専門家など
がそれぞれの立場から
発言。

小規模多機能型居宅
介護センターなど介護
保険事業も手がける支
心の川本俊憲氏は「生
きていることが実感で
きる安心の場をつくっ
ていきたい」。高齢者
下宿を展開する大晃の
駒木晃次氏は「選択に
当たっては体験入居
し、ミスマッチをなく
すべき」と話した。

道総合研究調査会の
五十嵐智嘉子氏は地域
シンクタンクの立場か
ら「さまざまな種類の
共同住宅が登場してい
るが、制度が追いつい
てなく、規制できる仕
組みが必要。事業者側
には開かれた運営が求
められる」と指摘した。